

平成26年度京都大学  
大学院人間・環境学研究科 公開講座

「京の府民大学」対象講座

# 多 様 性 に 向 け た 会 合

日時 平成26年 **10月4日(土)**  
10時~17時30分

場所 京都大学 楽友会館 2階会議・講演室

私達をとりまく社会・文化や自然は実に多様です。  
私達人間自身も、実に多様な活動をしています。  
しかし、日々の生活の中で、  
その多様性を実感する機会はあまり多くないのではないのでしょうか。  
本講座では、普段はなかなか触れることのできない、  
多様な社会や自然が織りなす豊饒な世界を、多様な視点から読み解きます。

- 講演1** 世界の多様な言語の将来は?  
京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 服部 文昭
- 講演2** 動物の種多様性:両生類を例に  
京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 松井 正文
- 講演3** キリバスのサンゴ島で  
多様性を考える  
— 過酷な環境下の生活実践 —  
京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 風間 計博
- 講演4** 神経システムの簡略化から  
ヒトの多様な動作を捉える  
京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授 神崎 素樹
- 司会** 京都大学大学院人間・環境学研究科  
准教授 見平 典

受講資格 問いません 受講料 4,000円(消費税含む) 定員 60人(先着順)  
申込方法 郵便はがき、ファックス、メールのいずれかにより、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をお知らせください。  
おって、受講料の支払いについてご案内いたします。  
申込先 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科 総務企画掛 宛  
Tel:075-753-6514 Fax:075-753-2957  
E-mail jinkankoukai@adm.h.kyoto-u.ac.jp (件名に公開講座申込と記入してください)  
申込締切 平成26年9月12日(金)

## 服部 文昭

はっとり ふみあき  
専門分野 / 言語学  
スラヴ文献学

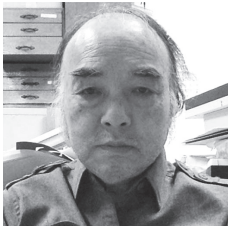


## 世界の多様な言語の将来は？

地球上の言語の数は八千に及ぶと言われます。オリンピック参加国・地域が約二百ですから、言語の多様性がよく分かります。多様なだけでなく、どの国や地域で用いられようとも、人類の言語の仕組みという観点からは、言語に関しての優劣など無いのです。その言葉が用いられている社会において、毎日、完璧な機能を果たしています。多様な言語の行く末に関して、今日の世界の動きからは危惧の念を覚えます。本講座では、ロシア語など旧ソ連邦での言語事情を取り上げながら、世界の多様な言語の将来について考えます。

## 松井 正文

まつい まさふみ  
専門分野 / 動物系統分類学



## 動物の種多様性：両生類を例に

生物は均一性と変異性という、相反する特性をもっています。同じ遺伝暗号を用いながら、長い進化過程で変異性を蓄積した生物は驚くほど多様です。しかし、この生物多様性が問題とされたのは比較的最近のことです。自らの利己的行為によって生物多様性を急速に減らしつつあることに気づいたヒトは、そのごく一部しか知らないことに焦りだしています。多様性理解の切り口も多様ですが、ここでは両生類分類学の立場から、多様性を枚挙する行為について、その意義を訴えたいと思います。

## 風間 計博

かざま かずひろ  
専門分野 / 文化人類学



## キリバスのサンゴ島で多様性を考える — 過酷な環境下の生活実践 —

現代社会では、多様性が「善いこと」として受容されています。一方、キリバスのサンゴ島では、多様性の対極といえる環境のなかで、人々は暮らしています。降雨量が不安定で土壌が貧弱なサンゴ島では、陸生の植物層は発達していません。しかし、平板に見える環境において、人々は微細な差異を見出しながら生活を営んでいます。厳しい自然条件下における環境認識や生活実践を参照して、多様性のあり方について再考したいと思います。

## 神崎 素樹

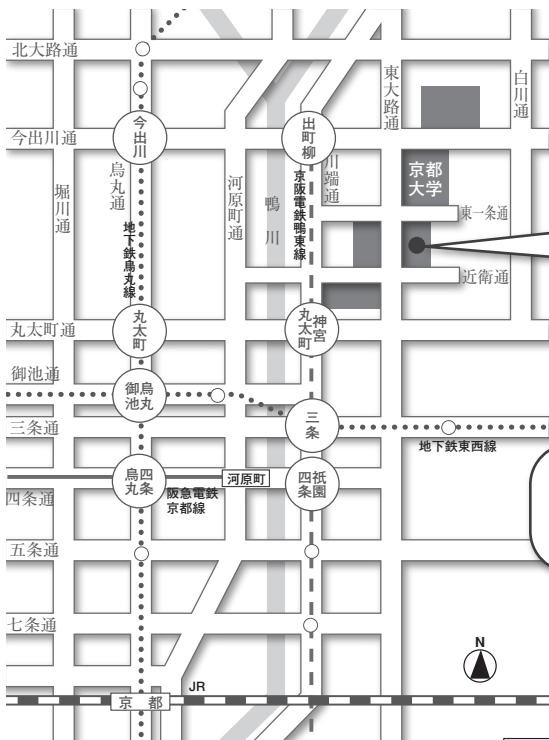
こうざき もとき  
専門分野 / 神経生理学  
運動制御



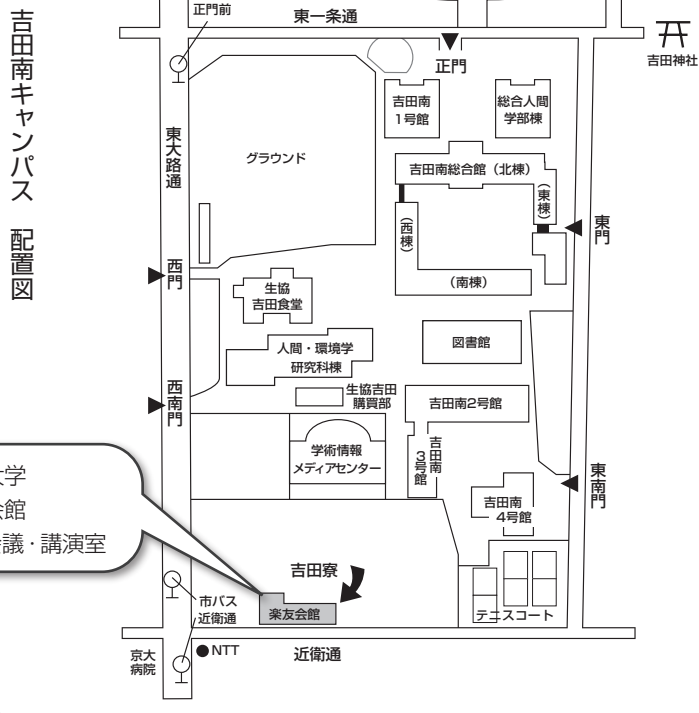
## 神経システムの簡略化からヒトの多様な動作を捉える

ヒトは多様な動作を行うことができます。この多様な動作は、関節運動を生成する多くの筋による適切な活動、そして莫大な筋を支配する中枢神経系によりコントロールされています。一見単純な動作にみえる動作でさえ、中枢神経系は無数の筋活動の組み合わせから最適な1つの解を決定していることになります。しかし、ヒトには性質の異なる600個の筋が存在するため、中枢神経系がどの筋をどのくらい活動させるかという指令を個々の筋に逐一送っていると処理すべき情報量が膨大となります。そこで、中枢神経系は膨大な情報量を簡略化して最適な動作を生成しています。本講座では、ヒトの多様な動作を生成するために神経システムを簡略化する、という一見矛盾する我々の運動制御について話したいと思います。

### 近辺地図



### 構内図



タクシー：JR京都駅から約20分

市バス：230円

交通機関：乗車地	市バス系統	経由・行き先	下車地
J R：京都駅前	D2乗り場から206系統	祇園・北大路バスターミナル	近衛通
阪 急：四条河原町	201系統	祇園・百万遍	
京 阪：四条京阪前	31系統	高野・岩倉	
地下鉄：烏丸今出川	201系統	百万遍・祇園	
京 阪：出町柳駅前			
京 阪：神宮丸太町		当駅下車北東へ徒歩約20分	